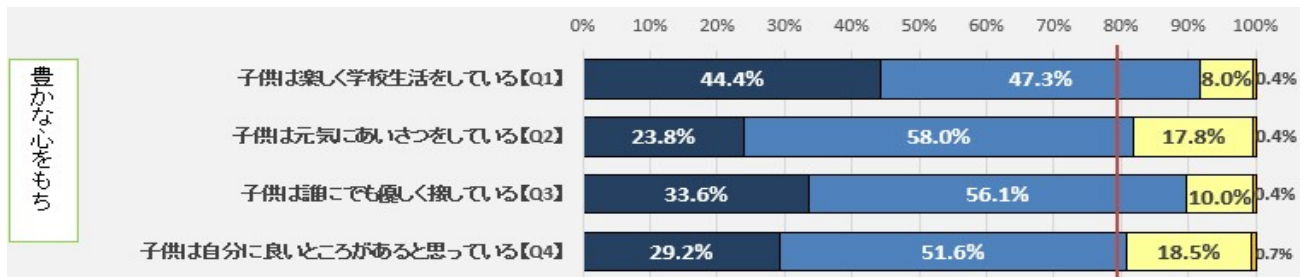


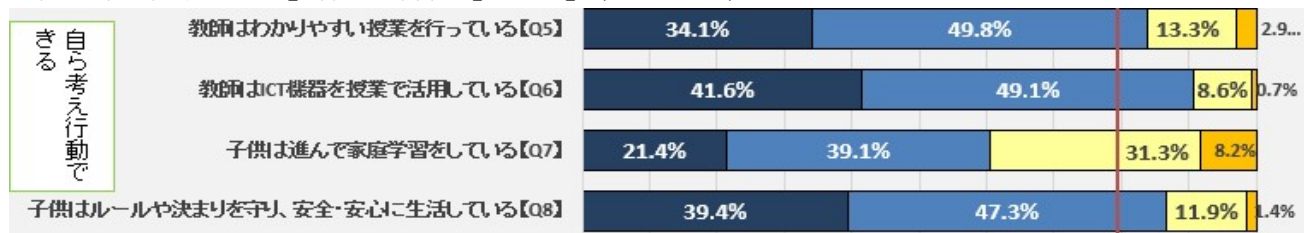
令和7年度学校評価【保護者回答】集計結果について

「豊かな心をもち」肯定的評価【86.0%】(R6:89.5%)



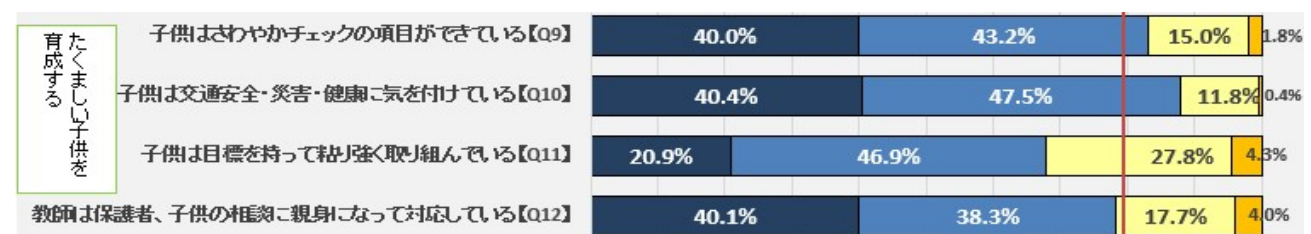
「自分に良いところがある」に課題があります。自己肯定感が低い傾向にあるとも言えます。「結果」のみを評価するのではなく、取り組んだ姿「過程」を具体的な場面を通して称賛します。子供が、自分の努力や取り組む姿勢を認められることで「自分はやればできるんだ」「ちゃんと見てくれる人がいるんだ」という意識を高めていくことで、子供たちの自己肯定感を高めていきます。

「自ら考え行動できる」肯定的評価【80.4%】(R6:85.7%)



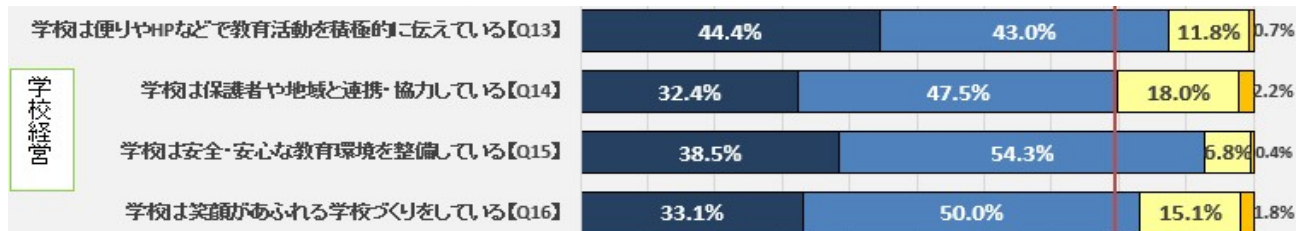
「家庭学習」に課題があります。家庭学習は授業で学習した内容を定着させるため、また家庭での学習習慣を身に付けるためにも必要です。昨年度から、自学(自分で課題を設定し取り組むこと)を奨励しています。学校では宿題の大切さを改めて指導しますので、家庭では、宿題に「取り組む時間帯」と「場所」を予め決めておくなどルーティン化し、家庭学習は当たり前の環境づくりをお願いします。

「たくましい子供を育成する」肯定的評価【79.3%】(R6:84.8%)



「目標を持って粘り強く取り組む」ことに課題があります。さまざまな教育活動に各自目標を掲げて取り組ませています。目標が大きすぎる場合は、スモールステップで小さな成功体験を積み重ねるなどして、次のステップに取り組む意欲と粘り強さを育みます。「相談に親身になって」の課題については、教職員にまずは、話をしっかり聴く「傾聴」の姿勢で保護者、子供に対応することを再確認します。

「学校経営」肯定的評価【85.8%】(R6:87.1%)



「保護者や地域と連携・協力」に課題があります。コロナ禍以降、学校教育活動、PTA活動や地域行事等がリニューアルしています。同時に、働き方改革の取組が学校現場にも要請されています。しかし、学校と保護者、地域が連携・協働することで相互理解が深まり、地域全体の教育力向上が期待されます。学校教育活動の調整が可能な場合は、積極的に協働を進めて教育活動の充実及び健全育成を図ります。

■とてもそう思う ■どちらかといえば、そう思う ■どちらかといえば、そう思わない ■全く思わない